

デーリー東北

2021年(令和3年)11月17日(水曜日) (15)



南極での調査について説明する鮎川恵理准教授

南極観測隊って？

八戸工大二高付属中(明石進校長)で10日、サイエンス特別講座「地球環境と南極―南極観測隊の仕事とひとびと―」が行われた。八戸工業大生命環境科学科准教授で、第42次南極地域観測隊(2000～01年)に参加した鮎川恵理さんが講師を務め、全校生徒約40人に南極での研究内容などを紹介。進路選択を控える中学生にアドバイスした。

(金濱千優希)

工大二高付属中で特別講座

鮎川さん(八工大)が紹介

講演では、鮎川さんが南極がちな職種でも、実は理極で取り組んだコケの繁殖系が活躍できる可能性が高いに関する研究や、氷の解析のことなどを例に挙げ、「好などに触れ、「南極の氷や植物から、地球温暖化の歴史や今後が分かる」と解説した。3年の沼田大地さん(14)は「南極については知らな暮らしについても写真を交えて紹介した。また、理系女子を応援する活動も展開する鮎川さんが、進路選択

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。